

**和田明子**議員の1月臨時議会の質疑の答弁の要旨を紹介します。質疑、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



## ＊ ＊補正予算編成について＊ ＊

**和田** 新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守る施策が第一の柱として予算の検討をされたが、コロナの影響を受けた深刻な生活困窮者への支援は、今までの支援の延長しかない。もう少し踏み込んだ支援については検討されたのか。

**知事** 私どもはコロナの影響を受けている県民への支援、常に支援策のあり方を検討してきており、今回の補正予算だけでなく、当初予算等でも様々な施策を盛り込む中で総体として支援を行っている。

## ＊ ＊長野県版 GoTo トラベル事業について＊ ＊

**和田** 補正予算の検討段階ですでに、変異株オミクロンが国内で発生している中で、今回の補正に 249 億円余を計上するのは感染のアクセルを踏むものとして見送るべきだったのでは。年度末に向けて、苦境に立たされている観光事業者から必要な支援について直接要望を聞いていると思うので、丁寧に対応してほしい。

**観光部長** 観光産業の再生には切れ目のない観光需要喚起策が必要と考え、観光関連予算を組み立てたところだ。引き続き感染状況を踏まえながら、観光事業者の下支えを図り、課題解決も事業者の意見を聞きながら、関係部局等と連携して丁寧に対応していく。

## ＊ ＊災害に強い県づくりについて＊ ＊

**和田** 補正予算全体で 259 億円余の県債発行が余儀なくされ、その多くが災害に強い県づくりの事業に充てられる。道路・河川等の改良要望に応えるものであるとしても、将来負担を増大させることについてどう考えるか。

**総務部長** 今回計上した県債は全て交付税措置のあるものであり将来負担の増大を極力抑制するよう努めた。投資的経費の厳選や事務事業の徹底した不断の見直しなど、将来世代に過度な負担を負わせることのないよう、持続可能な財政運営に努める。

**和田** 台風災害や大雨による災害の復旧・復興の経験を踏まえ、地域密着型で地元企業により多くの事業に携わってもらい、着実に執行してもらいたい。

**建設部長** 事業の円滑な執行には、地域を支える地元企業の協力が不可欠で、こうした環境整備に加え、技術者要件の緩和や受注者が施行時期を選択できる制度を適用することにより、事業を着実に執行していく。

### ＊質問を終えて＊

国からの予算を最大限活用する予算が提案されましたが、県民の暮らしを守る予算があまりにも少ないと指摘させていただきました。

